



# 2003年3月期決算説明会 【連結・個別】

平成15年6月5日  
石光商事株式会社

## 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

# 会社データ

**社名** : 石光商事株式会社  
S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

**本社** : 神戸市灘区岩屋南町4番40号

**代表者** : 代表取締役会長 石光輝男  
代表取締役社長 駒澤啓之

**創立** : 1906年7月

**設立** : 1951年5月

**売上高** : 29,465百万円(2003年3月期連結)

**経常利益** : 1,192百万円(2003年3月期連結)

**当期純利益** : 745百万円(2003年3月期連結)

**従業員数** : 235人(2003年3月末連結)

**主要業務** : コーヒーを中心とする食品販売事業

**関係会社** : 連結子会社6社、持分法適用関連会社1社

# 沿革

- ◆ 1906年 : 創業者石光季男が単身渡米、LAにおいて食料品販売業を創業
- ◆ 1922年 : 対日貿易量の増大にともない本店を神戸に移す
- ◆ 1943年 : 戦争激化により休業
- ◆ 1951年 : 貿易再開と同時に株式会社石光季男商店を設立
- ◆ 1963年 : 石光商事株式会社と改称
- ◆ 1972年 : 東京地区の取引先との共同出資により東京アライド'コーヒーロースターズ'を設立
- ◆ 1973年 : 関西地区の取引先との共同出資により関西アライド'コーヒーロースターズ'を設立
- ◆ 1999年 : 本社ビル新築移転(震災復興)
- ◆ 2000年 : 製品部門 ISO9001及びISO9002の認証取得
- ◆ 2001年 : 食品部門 ISO9001を取得
- ◆ 2002年 : 組織改革 チームリーダー制の導入  
(4室・営業26チーム・管理14チーム)
- ◆ : JASDAQ市場に上場

# 経営理念

「ともに考え、  
ともに働き、  
ともに栄えよう」



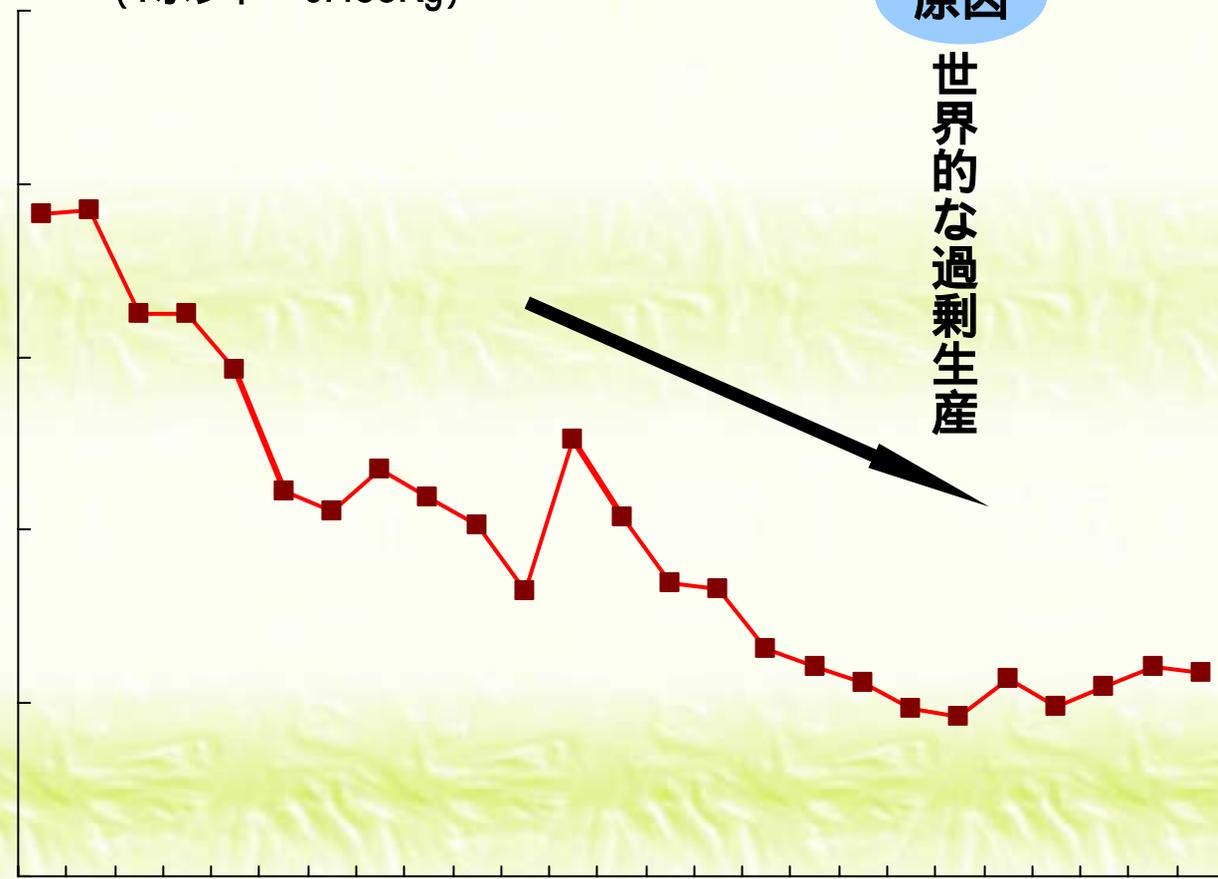
# コーヒー価格の推移

## ニューヨーク・コーヒー先物清算値(期近物)

セント/ポンド

(1ポンド 0.453Kg)

250  
200  
150  
100  
50  
0



原因

世界的な過剰生産

対策

高品質コーヒーの確保  
主要消費国での需要拡大策

品質管理が販売の差に

当社推定

~2005 (年)



# NYコーヒー価格の推移

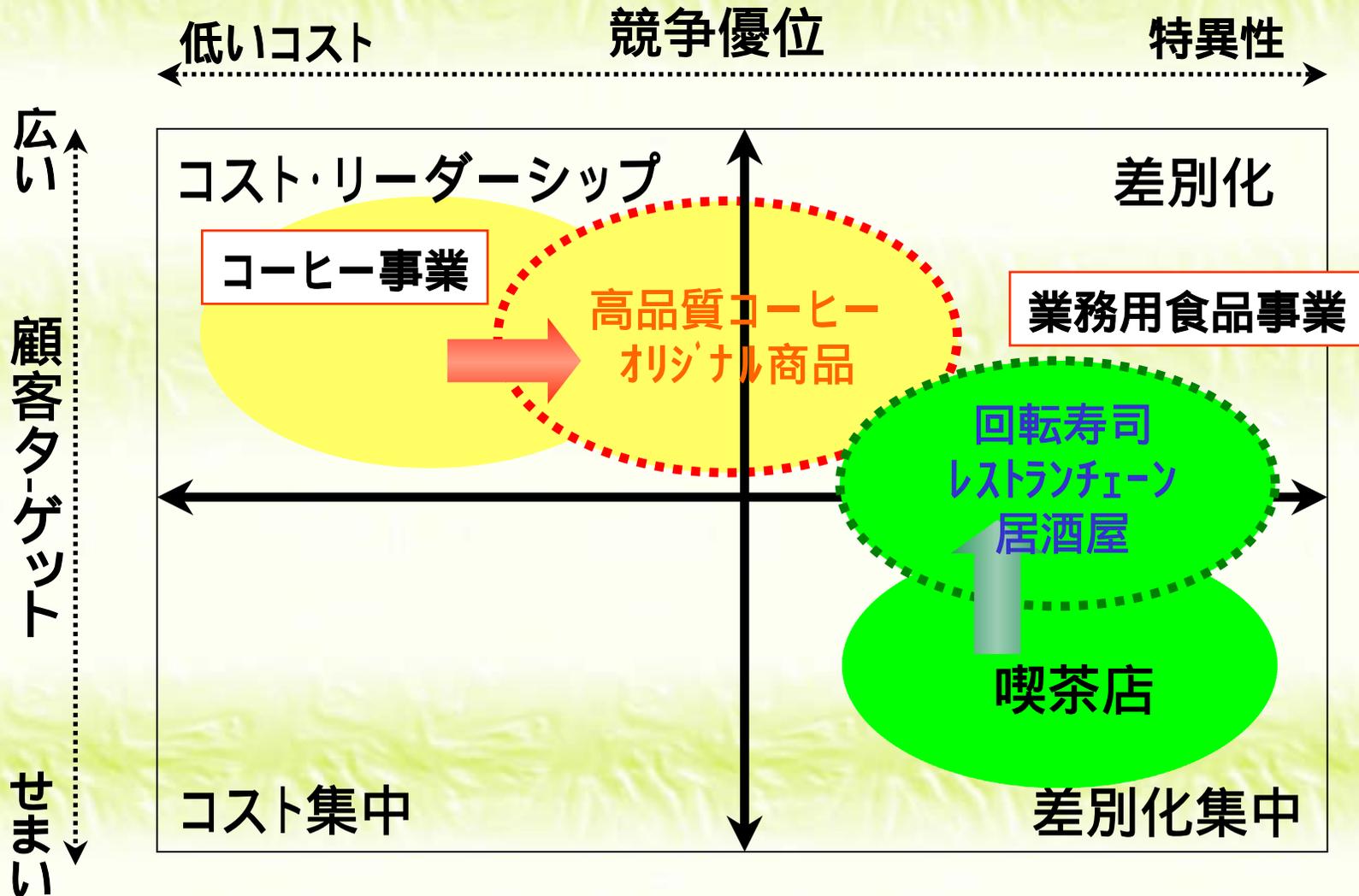
(セント/ポンド)

(1ポンド 0.453Kg)



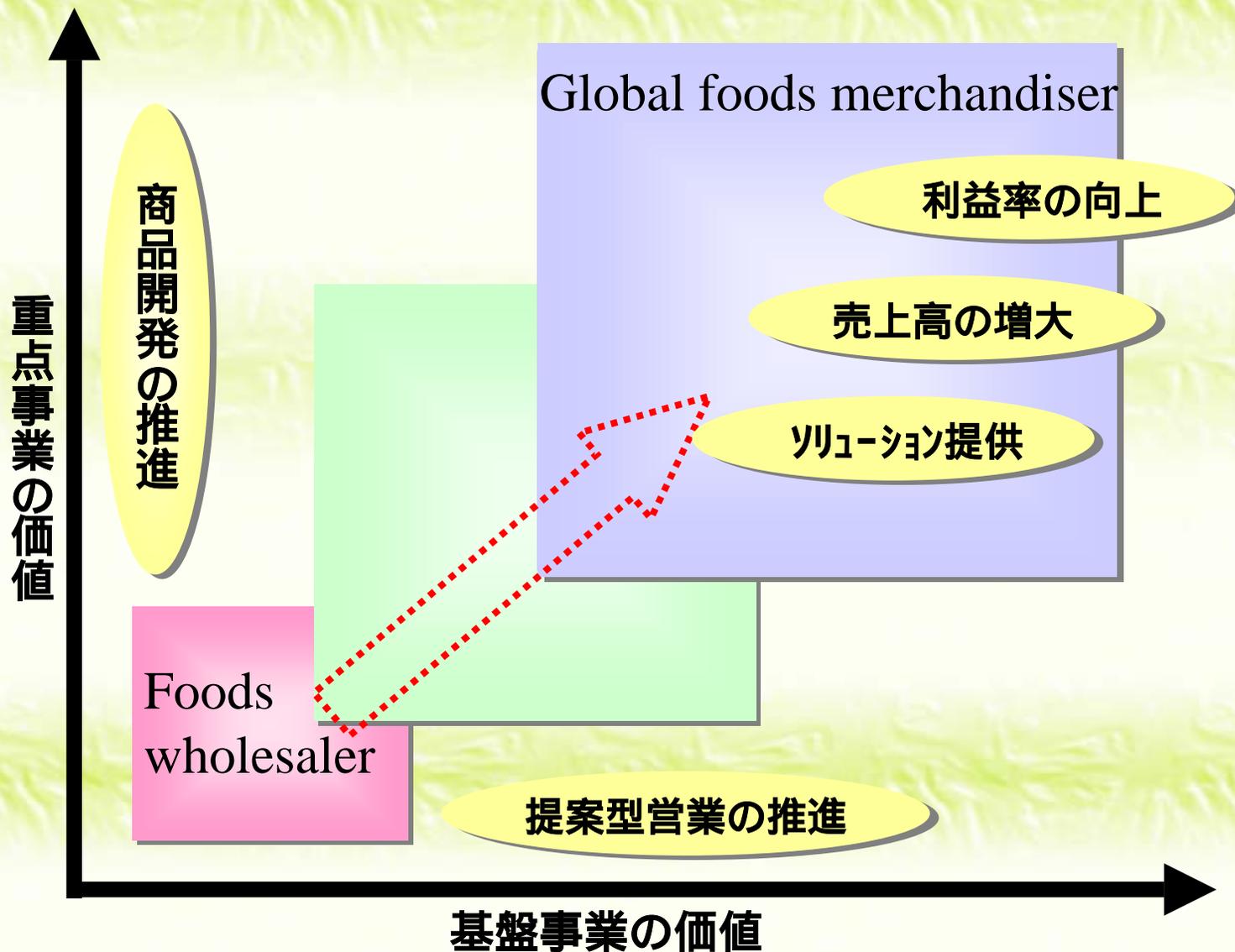


# マーケット戦略





# 企業価値最大化へ向けて



# 当決算(連結)のポイント

1. 前年同期比、売上高・営業利益 増加
2. 持分法損益(TACR)減少、上場費用で  
経常利益は減少
3. コーヒー生豆、販売単価の下落を、  
数量増、高品質商品の販売増加でカバー
4. RC売上減少 IC・紅茶製品の売上増加
5. パスタ・オリーブオイルは、堅調に推移
6. 冷凍食品の水産加工品・加工調理食品の  
販売好調

# 平成15年3月期決算(連結)の概要

## 実績と前期比

(百万円)

	2001年度	2002年度	2003年度	増減率	増減額
売上高	30,639	29,219	29,465	100.8%	246
営業利益	855	1,027	1,095	106.6%	68
経常利益	905	1,281	1,192	93.1%	89
当期純利益	515	814	745	91.5%	69
R O E	12.8%	18.6%	13.9%	74.7%	
1株当たり 利益(円)	832.00	129.23	97.53	75.5%	

03年度より、1株当たりの利益算定に際し、利益処分による役員賞与金を控除(前会計年度同じ方法により算定した場合の1株当たりの利益は103.06円。)

02年度に普通株式1株を10株に分割。



# 平成15年3月期決算(単体)の概要

## 実績と前期比

(百万円)

	平成14年3月期		平成15年3月期	
	損益計算書	前期比(%)	損益計算書	前年同期比(%)
売上高	28,633	95.4%	28,872	100.8%
売上総利益	4,042	106.5%	4,185	103.5%
販管費	3,102	104.6%	3,194	103.0%
営業利益	940	113.3%	991	105.5%
経常利益	967	144.0%	933	96.5%
当期純利益	540	159.8%	528	97.7%



# 平成15年3月期決算(連結)の概要

## 実績と連単倍率

(単位:百万円,倍)

	平成14年3月会計年度			平成15年3月会計年度		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	29,219	28,633	1.0	29,465	28,872	1.0
売上総利益	4,511	4,042	1.1	4,668	4,185	1.1
営業利益	1,027	940	1.1	1,095	991	1.1
経常利益	1,281	967	1.3	1,192	933	1.3
当期純利益	814	540	1.5	745	528	1.4



# 品目別売上状況(連結)前期比

## 実績と前期比

(百万円)

	平成14年3月会計年度		平成15年3月会計年度	
	売上高	前期比(%)	売上高	前期比(%)
コーヒ－生豆	3,643	81.5%	3,848	105.6%
飲料製品および原料	4,399	107.5%	4,169	94.8%
常 温 食 品	8,776	94.2%	8,749	99.7%
冷 凍 食 品	5,147	103.8%	5,825	113.2%
食 品 原 料	5,344	103.8%	5,181	96.9%
そ の 他	1,907	72.0%	1,691	88.7%
合 計	29,219	95.4%	29,465	100.8%

冷凍食品大幅増加、コーヒ－生豆堅調

# 品目別売上状況(連結) 構成比

## 実績と構成比

(百万円)

	平成14年3月会計年度		平成15年3月会計年度	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
コ－ヒ－生豆	3,643	12.5%	3,848	13.1%
飲料製品および原料	4,399	15.1%	4,169	14.2%
常 温 食 品	8,776	30.0%	8,749	29.7%
冷 凍 食 品	5,147	17.6%	5,825	19.8%
食 品 原 料	5,344	18.3%	5,181	17.6%
そ の 他	1,907	6.5%	1,691	5.7%
合 計	29,219	100.0%	29,465	100.0%

**冷凍食品の構成比率拡大**

# 品目別売上状況(単体)

## 実績と前年同期比

(百万円)

	平成14年3月期		平成15年3月期	
	売上高	前期比(%)	売上高	前期比(%)
コ ー ヒ ー 生 豆	3,545	81.6%	3,754	105.9%
飲料製品および原料	4,220	108.2%	3,984	94.4%
常 温 食 品	8,468	94.0%	8,435	99.6%
冷 凍 食 品	5,147	103.8%	5,825	113.2%
食 品 原 料	5,344	103.8%	5,181	96.9%
そ の 他	1,907	72.0%	1,691	88.7%
合 計	28,633	95.4%	28,872	100.8%

**冷凍食品(特に水産加工品)が伸びている**



# コーヒー生豆・RC・IC・紅茶の販売状況(単体)

## 実績と前年同期比

(百万円)

	平成14年3月期	平成15年3月期		
	売上高	売上高	前年同期比	
			金額、数量	比率(%)
コーヒー生豆	3,545	3,754	209	105.9%
(コーヒー生豆数量)	244千袋	252千袋	8千袋	103.4%
RC	1,717	1,635	81	95.3%
IC	951	989	37	104.0%
紅茶他茶類等	940	1,017	76	108.2%
合計	7,154	7,397	242	103.4%

注記: コーヒー生豆の売上高及び販売数量は、子会社への有償支給売上高を除いております。

**生豆は数量増加、高品質商品へシフト**

**RC家庭用減少 IC・紅茶は、家庭用が好調**



# イタリア食材の販売状況(単体)

## 輸入パスタ・オリーブオイルの実績と前年同期比

(百万円)

	平成14年3月期	平成15年3月期		
	売上高	売上高	前年同期比	
			金額	比率(%)
輸入パスタ	571	572	1	100.2%
オリーブオイル	302	329	27	109.0%
生ハム・チーズ	52	79	26	150.8%
合計	926	981	55	106.0%

外食向け及び問屋向け好調



# 冷凍水産加工品の販売状況(単体)

## エビ類・タコ類の実績と前年同期比

(百万円)

	平成14年3月期	平成15年3月期		
	売上高	売上高	前年同期比	
			金額	比率(%)
エビ類	812	1,330	517	163.7%
タコ類	229	390	161	170.5%
イカ類	202	123	-78	61.0%
水産品	6	104	97	1549.7%
調理加工品	38	118	79	305.6%
合計	1,290	2,068	777	160.3%

エビ類・調理加工品は、外食向け好調

タコ類・水産品は、メーカー向け販売好調



# TACRの業績推移

## 実績と前年同期比

(百万円)

	平成13年12月期	平成14年12月期	前年同期比(%)	平成15年12月期 予想
売上高	8,226,010	7,584,428	92.2%	7,300,000
当期純利益	595,251	433,791	72.9%	328,280
当社持分比率	35.23%	36.86%		38.01%
当社持分法による投資損益	198,650	149,482	75.2%	116,637
持分変動による投資損益等	64,061	35,709	55.7%	0
投資損益合計	262,712	185,192	70.5%	116,637

(注)平成15年3月31日の持分比率は、38.01%です。

## 業績予想(連結)

(百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期		
	実績	予想	前期比	
			金額	比率(%)
売上高	29,465	30,991	1,525	105.2%
売上総利益	4,668	4,679	10	100.2%
営業利益	1,095	1,080	15	98.6%
持分法による 投資利益	185	116	68	63.0%
経常利益	1,192	1,160	32	97.3%
当期純利益	745	715	29	96.0%

売上高は、コーヒー相場が安定し増加へ  
持分法による投資損益減少

## 業績予想(単体)

(百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期		
	実績	予想	前期比	
			金額	比率(%)
売上高	28,872	30,440	1,568	105.4%
売上総利益	4,185	4,213	28	100.7%
販管費	3,194	3,218	24	100.8%
営業利益	991	994	3	100.3%
経常利益	933	994	60	106.5%
当期純利益	528	576	48	109.2%

売上、利益とも堅調に推移する見通し

# 品目別売上予想(連結)

	平成15年3月会計年度		平成16年3月会計年度	
	売上高	前期比(%)	売上高	前期比(%)
コ－ヒ－生豆	3,848	105.6%	4,035	104.9%
飲料製品および原料	4,169	94.8%	4,206	100.9%
常 温 食 品	8,749	99.7%	8,912	101.9%
冷 凍 食 品	5,825	113.2%	6,241	107.1%
食 品 原 料	5,181	96.9%	5,778	111.5%
そ の 他	1,691	88.7%	1,817	107.4%
合 計	29,465	100.8%	30,991	105.2%

# 課題・施策

## 1 品質管理体制の強化

- ・研究開発室の品質検査機能強化

## 2 自社開発商品の販売促進

- ・生豆: グルメコーヒーの品揃え拡充
- ・家庭用レギュラーコーヒー

(OEM製造から自社ブランド商品へ)

- ・調理加工食品の設計開発

- ・顧客ニーズを具体化した加工水産品の拡大

## 3 専門性と実行力のある人材の育成